

請 願 文 書 表

受 理 番 号	第 1 号
受理年月 日	令和 5 年 6 月 1 日
件 名	学校給食費無料化を求める請願
請願の要 旨	【請願趣旨】 憲法26条は「義務教育はこれを無償にする」と明記しており、この憲法の精神に立てば、学校給食も無償になるべきものと考えます。学校給食法では、食材費のみ保護者負担とされているが、文部科学省は「自治体の判断で保護者負担を軽減、または‘負担なし’とすることは可能である」との見解を示している。その具体化として、すでに県内では35市町村中18市町村で完全無料化が実施されている。（昨年度は14市町村であった） 桐生市の1975年当時の年間出生数は2,240人、2022年は361人と激減している。最近では社会で子どもを育てようという気運も高まり、国でも「こども家庭庁」を開設し、少子化や子どもを取り巻く環境改善に取り組むことになっている。給食費無料化の署名をお願いしているとアパート経営の方から『子育て中の人たちは給食費が無料となった太田市、みどり市に移転してしまう。桐生市も早く無料化を実現してほしい』という声が聞かれた。桐生市の人口を増やすためにも、安心して子育てのできる市にしてほしいと願うものである。 今回の桐生市議会選挙前に、上毛新聞が行ったアンケートで、76%にあたる候補者の皆さんが給食費無料化に賛成したという結果を大変心強く感じている。 昨年、給食費無料化を心から願う人びとによる4,272筆の署名を提出した。議員の皆さまには、この気持ちをしっかりと受け止めてもらい、給食費の無料化を一日も早く実現できるよう心から願い、以下2点について請願する。 【請願事項】 1. 小中学校の全児童生徒の学校給食費を無料にしてください。 2. 県に対して、小中学校の学校給食費の無料化を行うよう働きかけてください。
紹 介 議 員	渡辺 恒、関口 直久
付託委員 会	教育民生委員会
審 査 結 果	令和 6 年 3 月 1 5 日：不採択